



専門学科・総合学科出身者入試

入学検定料 P.14

入試概要

学校推薦型選抜

一般選抜

共通テスト利用入試

総合型選抜

その他の入試

2026年度入試結果

試験日	出願期間	合否発表日	入学手続期間
10/18 <small>日</small>	9/29 <small>火</small> - 10/7 <small>水</small> <small>※当日消印有効です。</small>	11/2 <small>月</small>	一括 11/2 <small>月</small> - 11/13 <small>金</small> 分割 一次: 11/2 <small>月</small> - 11/13 <small>金</small> 二次: 11/2 <small>月</small> - 12/16 <small>水</small>

※入学手続は「一括手続」または「分割手続」のいずれかを選択できます。

「出願資格」

本学の教育理念および各学部・学科の3つのポリシーを十分に理解するとともに、つぎの各項に該当する者

1. つぎの①・②のいずれかを満たす者

- ① 高等学校または中等教育学校の専門学科、総合学科を2027年3月卒業見込みの者
- ② 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを2027年3月修了見込みの者として該当し、志望学部・学科に関連する専門教育を行う学科・コースに所属していると本学が認められた者

※②に該当する場合は、2026年9月18日(金)までに入試部に出願資格の有無を確認してください。

2. 出身学校における調査書の「学習成績の状況*」が志望する学部が指定する成績基準以上である者

●法学部 ●国際学部 ●経済学部 ●経営学部 ●現代社会学部:「全体の学習成績の状況」が3.5以上である者

●理工学部

- 生命科学科:「全体の学習成績の状況」が3.3以上、または「物理基礎」「物理」「化学基礎」「化学」「生物基礎」「生物」のいずれかの科目の評定の平均が4.0以上である者
- 住環境デザイン学科:「全体の学習成績の状況」または「数学」「理科」「国語」の学習成績の状況の3教科平均値が3.5以上である者
- 生命科学科・住環境デザイン学科以外:「全体の学習成績の状況」が3.5以上である者
- 農学部:「全体の学習成績の状況」が3.0以上である者

*第1学年から最終学年1学期(または前期)までのものとする。ただし、2学期制の学校で、最終学年前期までのものが未決定の場合は前期中間テストまでのもの、それが不可能な場合は第2学年までのものとする。

「募集学部・学科、選抜方法」

学部・学科	項目	内容	配点	試験時間		
●法学部 ●経営学部 ●国際学部 ●現代社会学部 ●経済学部 ●農学部 食農ビジネス学科	調査書	「全体の学習成績の状況」を5倍	25点	計250点		
	資格点	取得資格を点数化★取得資格の詳細はP49・50を参照してください。	25点			
	小論文	字数は600字以内(テーマは学部により異なります)	100点		60分	
	面接※注1	個人またはグループ	100点		—	
	適性検査	生命科学科 住環境デザイン学科 都市環境工学科 機械工学科 電気電子情報工学科	生物「生物基礎」または化学「化学基礎」から1科目選択※注3 英語「英語コミュニケーションⅠ」 数学「数学Ⅰ・数学Ⅱ」 英語「英語コミュニケーションⅠ」		100点(各50点) 100点(各50点)	80分※注2 80分※注2
●理工学部	調査書	「全体の学習成績の状況」を5倍	25点	計250点 (建築学科のみ計300点)		
	資格点	取得資格を点数化★取得資格の詳細はP49・50を参照してください。	25点			
	適性検査	建築学科	数学「数学Ⅰ・数学Ⅱ」 英語「英語コミュニケーションⅠ」 描画		150点(各50点)	80分※注2 30分
	面接※注1	個人またはグループ	100点		—	
	●農学部 農業生産学科 応用生物科学科 食品栄養学科	調査書	「全体の学習成績の状況」を5倍		25点	計250点
資格点		取得資格を点数化★取得資格の詳細はP49・50を参照してください。	25点			
適性検査		生物「生物基礎」または化学「化学基礎」から1科目選択※注3 英語「英語コミュニケーションⅠ」	100点(各50点)	80分※注2		
面接※注1		個人またはグループ	100点	—		

※注1.面接では、志望理由、学修計画、卒業後の進路目標に関する質問を含みます。 ※注2.時間配分は自由です。 ※注3.選択科目は試験当日に選択。

[CHALLENGE!] 特別奨学生チャレンジ制度

専門学科・総合学科出身者入試に合格し、入学手続を完了した方は特別奨学生チャレンジ制度が利用できます。 P.17

